

一人ひとりの未来を支える生涯発達支援学校 ～QOLの視点から各学部における支援を考える～



期日 令和5年1月27日(金) 9:00～16:15

場所 東京学芸大学附属特別支援学校 (対面開催)

本校では「一人ひとりの未来を支える生涯発達支援学校」を主題とした研究を進めております。3年目の今年度は「QOLの視点から各学部における支援を考える」という副題のもと、QOL(Quality of Life)の考え方に基づいて各学部段階での支援の検討を行っております。

つきましては、下記の通り研究協議会を開催いたします。今年度は3年ぶりの全面対面開催を予定しております。ご多用のことと存じますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

講演

特別支援学校における言語活動について考える

大伴 潔 (東京学芸大学)



特別支援学校における言語活動は、意味のある活動文脈で、幼児・児童・生徒のコミュニケーション意欲にもとづき、一人ひとりの言語発達状況や認知的特性を踏まえて指導目標や指導内容を設定することが望ましい。学びの場であるとともに生活の場でもある特別支援学校の特徴を活かした授業や活動の展開、言語を介したかわり方や環境調整のあり方等について、東京学芸大学附属特別支援学校での実践も参照しながら考えていきたい。

校長挨拶

学校長 藤野 博（東京学芸大学）



本年度の研究協議会は3年ぶりに対面形式で行うことといたしました。ウィズコロナの時代に適した、オンライン開催とは異なる研究発表と交流のもうひとつのスタイルを、感染症対策に万全を期しながら探っていきたいと考えております。本年度は「QOL(生活の質)」の視点から、生涯発達支援を理念とする本校の各学部の具体的な取り組みについて検討いたします。久しぶりの対面での活発な議論を期待しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日程

9:00~9:30	9:30~9:50	10:00~11:00	11:10~11:30	11:30~13:00	13:00~14:30	14:40~16:15
受付	全体会 (諸連絡)	研究授業 公開授業	全体会 (研究概要)	昼食	分科会	講演

全体会 今年度の研究概要・各分科会の紹介

*昼食は各自ご用意下さい。分科会会場で飲食できます。

学校近隣には飲食店が少ないため、予めご用意頂くことをお勧めいたします。

研究授業

幼稚部	ひかり組	朝の集まり	井上剛
小学部	そら組 3・4年生	図画工作	玉木秋樹
中学部	グループ別 1~3年生	自立活動 (課題別グループで実施)	北川文子
高等部	2年	進路	松本晃

*1 研究授業以外も授業を公開しております。

*2 中学部は課題別グループで授業を実施します。そのうち1つのグループが研究授業となり、残りのグループは公開授業となります。

分科会 概要

● 分科会 1 (幼稚部)

【共同研究者:大伴^{※2} 潔 橋本^{※2} 創一】

○ 幼児期の子どものQOLについて考える

今年度の幼稚部は、幼児期のQOLの重要な構成要素の一つである「友だちや教員との充実したかかわり」に対する支援に重点をおき、小集団への参加や個々のことばの発達や伝達手段に応じたコミュニケーションスキルの獲得を支援する場である「朝の集まり」を中心に、支援の改善・評価を行ってきた。当日は「朝の集まり」の授業実践のほか、これまでの幼児の育ちを、自由遊びや家庭での姿と関連付けて包括的に報告し、幼児期の子どものQOLについて、コミュニケーションの視点から考えていきたい。

● 分科会 2 (小学部)

【共同研究者:大鹿^{※1} 綾 田中美歩^{※1} 村山拓^{※1}】

○ 小学部段階(6年間)で大事にしたいQOLを考える

小学部の「おみせをひらこう」は大きく三つの学習活動(①製作活動、②販売・購入の活動、③集団活動)から構成される単元である。本年度はWHOが提唱するQOL Disabilities Moduleをベースに「おみせをひらこう」の指導内容と一人ひとりの「個別教育計画」の目標を検討し、授業を実践してきた。研究授業では、「おみせをひらこう」の製作活動から繋がる「図画工作」の授業を行う。分科会では、「おみせをひらこう」で重視した小学部段階におけるQOLの視点を踏まえ、児童がQOLを高めていくために大事にしたい指導計画の立て方、授業実践の工夫について議論を深めたい。

● 分科会 3 (中学部)

【共同研究者:小林^{※2} 巖 澤^{※1} 隆史 村尾^{※1} 愛美】

○ 知的障害児の教育的ニーズはQOLとどのように関係するか

今年度の中学部では、主に自立活動の時間を中心に、子どもの将来的なQOL向上を目指した取組を行っている。QOLの評価については保護者による代理評価を行い、QOLの満足度を把握した。また自立活動については、教員の視点から課題間の関連や中心課題を抽出し、指導計画を作成した。QOLと自立活動の、2軸の評価をもとに実践を行い、卒業後のQOLを向上させるための教育活動に取り組んでいる。研究授業では自立活動(コミュニケーション)の授業を公開する。また、分科会では自立活動とQOLの関わりについて議論を深めたい。

● 分科会 4 (高等部)

【共同研究者:奥住^{※1} 秀之 平田^{※1} 正吾 松尾^{※3} 直博】

○ 卒業後を見据えたQOLの向上につなげる高等部での支援Ⅱ

高等部では、これまでQOLの考え方やモジュールの側面(facet)から支援内容や方法を検討してきた。今年度は、昨年度の取組を授業作りに活かすとともに、卒業生への調査を進め、青年期に必要な学びや「主観的幸福感」を高めることにつながる支援を考察した。その中で、QOLの本質や本校高等部で大切にしていることは、道徳教育とも関連があると捉えた。当日は「進路」の授業実践をもとに、卒業後を見据えながら自己理解を深め、社会とのつながりを意識できる学びについて提案したい。

<参加費>

📄 お申し込みはこちら



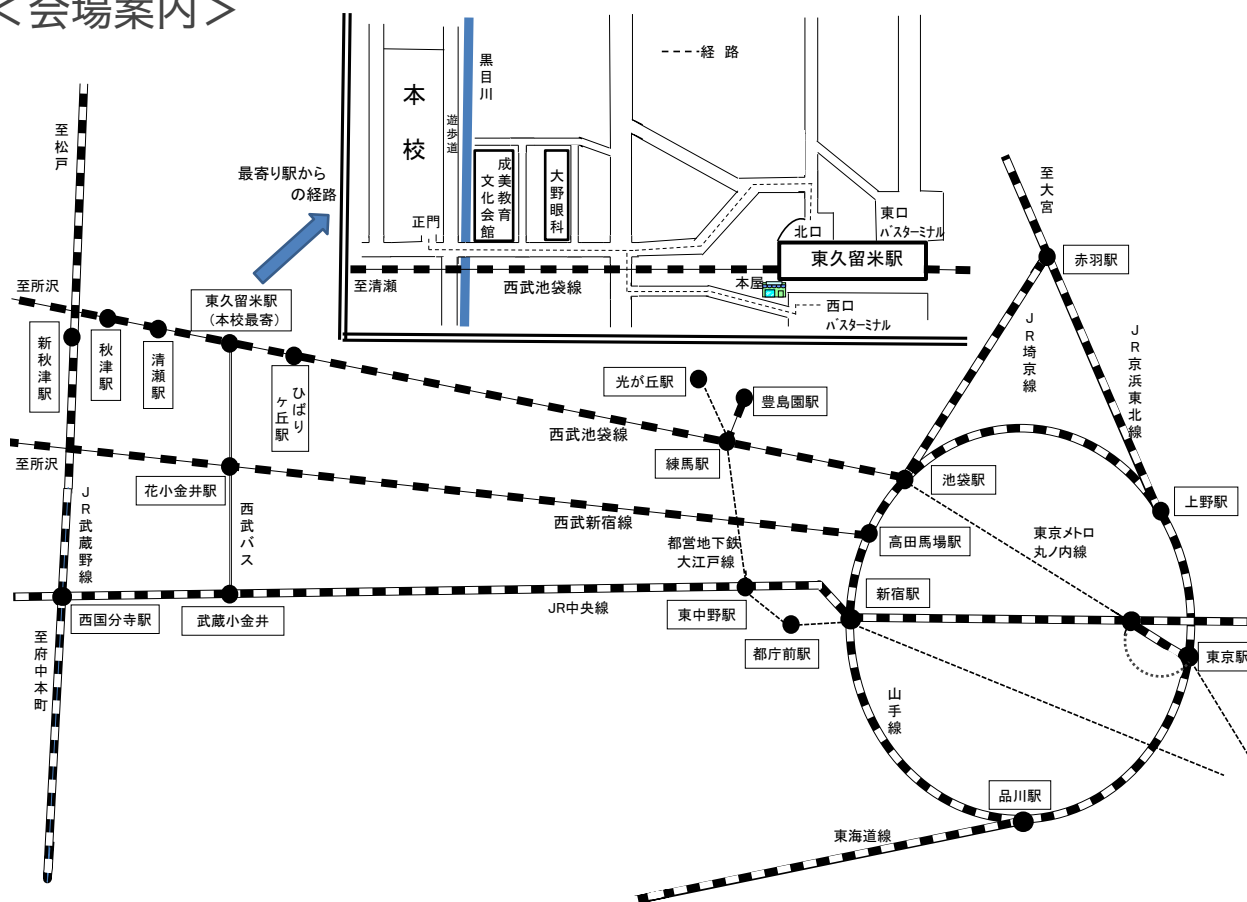
参加費……1,000円（当日受付にてお支払いください）

<申し込み方法>

「web申し込みフォーム」をご用意しておりますので、上記のQRコードもしくは本校ホームページからお申し込みください。新型コロナウイルス感染対策のため、参加定員を100名とさせていただきます。定員に達し次第、締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。なお、分科会会場の都合上、希望者多数の場合は、第二希望の分科会にご参加いただくことがございます。また、社会状況に応じて、開催方法をオンデマンド方式での配信に変更する可能性があります。

※締切は令和5年1月13日（金）です。締切日以降は下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

<会場案内>



- 西武池袋線 東久留米駅東口（北口方面）徒歩10分
 - 西武バス東久留米駅西口 徒歩10分
- *お車でのご来場はご遠慮ください。

<問い合わせ先>

東京学芸大学附属特別支援学校 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1

Tel:042-471-5274 Fax:042-471-5275

Email: sskenyu@u-gakugei.ac.jp URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~tokushi/>

研究主任 鈴木和也